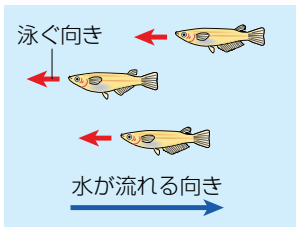


メダカ



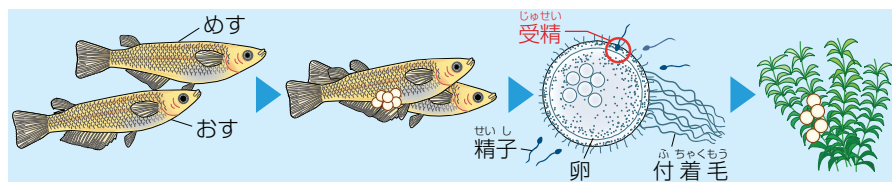
メダカは、田んぼや小さな川で見られる(1)です。メダカは、流れの弱い所の水面近くで(2)をなし、流れと(3)に泳ぎます。



最近(さいきん)は、水(みづ)のよごれなどが原因(げんいん)で、野生(げんいん)のメダカ(クロメダカ)の数は減(へ)っています。観賞用(くわんしょうよう)に改良(かいりょう)されたヒメダカがおも(おも)に飼育(しいき)されています。

成長のようす

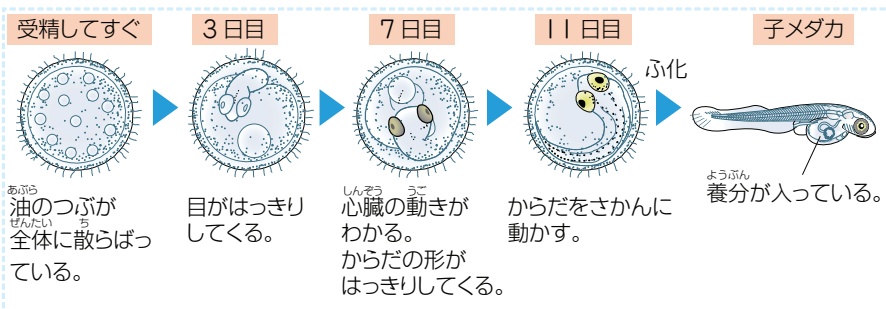
メダカなど、魚類(ぎょるい)の多くは(4)です。メダカは、昼(ひる)の明るい時間(じかん)が(5)以上(いじょう)で、水温(すいおん)が(6)以上(いぜんかい) (自然界(しぜんかい)では、(7)ごろ)になるとめすが(8)します。産卵(さんらん)は(9)に行(い)われます。



おすがめすを追いかけ、ならんで泳ぐ。 おすが背びれとしりびれでめすをだきかかえる。	おすがからだをふるわせると、めすが卵を産む。 おすが白い液を出し卵にかける。	卵(直径約1mm)に1つの精子が入る。	めすが卵を水草などにくっつける。
--	---	---------------------	------------------

受精(じゆせい)した卵(らん)は(10)で(11)します(25℃のとき)。

※水温(すいおん)が低い(ひく)とふ化(ふか)するまでの日数(ひかず)が多(おほ)くなります。



ふ化したばかりの子メダカ(こメダカ)の(12)の中には(13)がたくわえられており、2~3日はえさは食(た)わずにその養分(ようぶん)を使(つか)って成長(せいちょう)します。

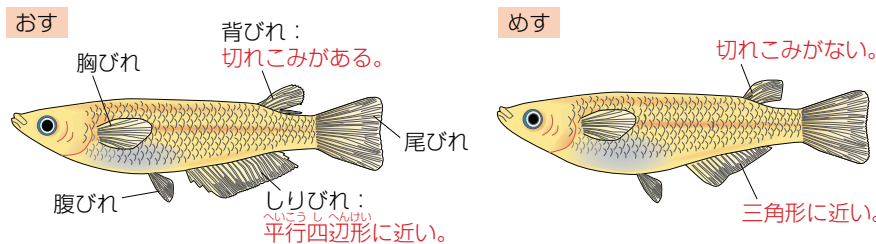
子メダカ(こメダカ)は(14)で成魚(せいぎょ)になり、冬(ふゆ)は水(みづ)の底(そこ)の落ち葉(おちば)のかげなどでじっとして過(す)ごし、次(つぎ)の春(はる)から夏(なつ)に産卵(さんらん)します。

食べ物とすみか

メダカは田んぼや小さな川などにすみます。(15)したばかりの子メダカは、2~3日は何も食(た)わず、(16)を使(つか)って成長(せいちょう)します。腹(はら)の養分(ようぶん)を使(つか)い切(き)ると、水(みづ)の中の(17)や(18)を食(た)べるようになります。

からだのつくり

メダカのからだは(19)くらいで、全体(ぜんたい)が(20)でおおわれています。(21)・(22)が(23)ずつと(24)・(25)・(26)が(27)ずつあります。メダカのおすとめすは、(28)と(29)の形(かたち)で見分(み)けることができます。



メダカのおすとめすを見分けたり、どちらかのからだを図(ず)にかかせたりする問題(もんだい)は入試(いしつ)問題(もんだい)でとてもよく出題(しゅつだい)されるのです。だから、自分(じぶん)でおすとめすのからだをかく練習(れんしゅう)をしてしっかり覚(おぼ)えようといてです。

飼育の仕方

メダカを飼育(しいき)するときは下の点(てん)に気(き)をつけます。

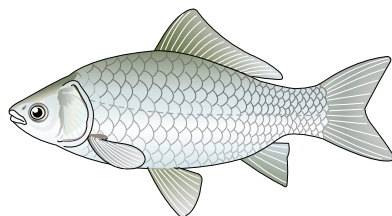
- ・水そうは(30)に置く。
- ・水そうには(31)を入れる。水(みづ)がにごったら水そうの水(みづ)の半分(はんぶん)くらいを(31)とどわかえる。
- ・水そうの底(そこ)に(32)をしき、(33)を入れる。
- ・(34)などで水(みづ)の中に空(く)気がたくさん入(い)るようにする。
- ・(35)のえさを毎日(まいにち)あたえる。

メダカが卵(らん)を産(う)んだら、親メダカ(おやメダカ)が卵(らん)を食(た)べてしまう場合(ばあい)があるため、卵(らん)を水草(すいそう)ごと別(わか)れの水そうに移(うつ)します。

フナ



フナは、川や池などいろいろな場所で見られる、とても身近な(36)です。食用とされることもあります。



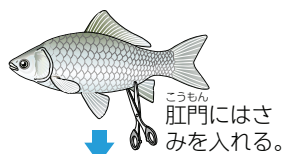
食べ物とすみか

フナは川や池などにすみ、水の中の植物や小さな動物などを食べます(種類によっては植物プランクトンしか食べないものもあります)。

からだのつくり

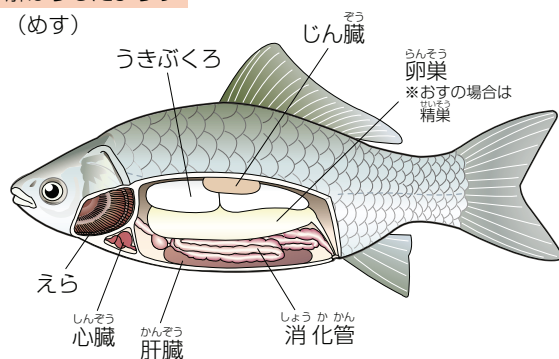
フナのからだは全体が(37)でおおわれています。(38)・(39)が(40)ずつと(41)・(42)・(43)が(44)ずつあります。フナはよく解ぼうに使われます。

解ぼうの仕方



解ぼうしたようす

(めす)



フナなどの魚の内臓も、基本的にはヒトの内臓と同じですが、魚には肺のかわりにえらがあること、うきぶくろがあることが大きなちがいです。入試問題で問われることがあるから覚えておくとよいですぞ。



キンギョ



キンギョは、鑑賞用によく飼育されている、身近な(45)です。フナのなかまを改良したものです。



キンギョを飼育するときは、メダカを飼育するときと同じ点に気をつけます。

+プラスワン

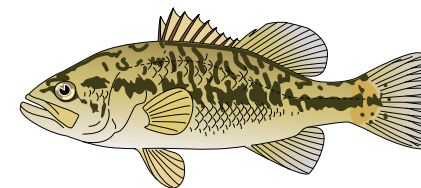
キンギョやメダカを飼育する水そうに水草を入れると、水草が卵を産みつけるためのよい場所となります。

ブラックバス



ブラックバス(オオクチバス)は、池や湖にすむ(46)です。

ブラックバスは、人間がつりをするために外国から持ちこまれた(47)です。(48)などを食べてふえるため、もともと日本にいた魚などが減ってしまうという問題が起きています。



+プラスワン

ブルーギルという淡水魚も、ブラックバスと同じように外国から持ちこまれてふえた魚の一つで、もともと日本にいた魚などが減ってしまう原因となっています。

ブルーギル

